

「平成29年度関西総合物流活性化モデル」の認定結果について

「平成29年度関西総合物流活性化モデル」の認定結果について

【関西総合物流活性化モデル評価委員会 結果概要】

○日時、場所
 平成30年2月22日(木) 14:00～15:40
 (於関西経済連合会会議室(中之島センタービル))

○結果(認定件数:全3件)

○選定委員 <敬称略>

委員長	関西学院大学商学部 教授	伊藤 秀和
委員	国土交通省近畿運輸局 交通環境部 計画調整官	上畑 光生
〃	国土交通省大阪航空局 空港部 空港経営改革調整課長	幸松 和明
〃	国土交通省近畿地方整備局 港湾空港部 地域港湾空港調整官	久保 まり
〃	(公社)関西経済連合会 地域連携部長	西村 和芳

モデル名	事業者	概要
①日本食輸出に貢献する神戸発リーファー食品輸送サービス	(株)ユニエツクス	・近年増加傾向にある日本の食品を神戸港に集約・混載し、小ロットの取引でも現地配送まで徹底したコールドチェーンで輸送を提供。 ・さらに低温輸送の研究機関・神戸港低温倉庫と連携し最適な輸送をトータルアドバイス。
②医薬品輸送認証システム「IATA CEIV Pharma」取得及び高品質輸送サービスの構築	KIX Pharma コミュニティ	・医薬品輸送認証システム「IATA CEIV Pharma」について、北アジアで初めて空港コミュニティでの取得アプローチを実施。 ・これにより航空輸送に関わるサプライチェーン全体の輸送品質向上を可能とし、関空を活用した更なる医薬品物流の活性化を実施。
③関西国際空港を拠点とした保税運送貨物の空港間輸送サービス	(株)ドコマップ ジャパン	・関西国際空港を中継地点として到着する貨物を成田国際空港・セントレア国際空港・福岡国際空港等の国内の別の国際空港へ保全運送するサービス。 ・GPS車両位置管理システム「DoCoMAP」を利用して、航空貨物を積載した車両の動態管理をリアルタイムで行い、決まった時間に正確に空港間輸送ができる運航管理が可能。

○認定のポイント

1. 関西の物流促進効果が見込めるか
2. 独自性の高い、あるいは先進的な取組であるか
3. 事業の遂行能力があり、継続性が見込めるか
4. 事業の実施体制が適切か

○委員からの主な意見

- ・活性化モデルを初めて10年ぐらいたっているが、当初は、制度や施設の問題を取り扱うものが多かったが、段々と変わってきてPR、商流の問題を取り扱うものになってきている。
- ・今回のモデル全般に言えることではあるが、サービス自体は問題ないが、いかに大きな商流をとって行くかということが重要で、セミナー等での周知PRが必要。

【会社概要】

社名 株式会社ユニエックス

本社 〒140-0014

東京都品川区大井1-28-1 住友不動産大井町駅前ビル

http://www.uni-x.co.jp/

申請者 〒650-0024

兵庫県神戸市中央区海岸通1-1-1 神戸郵船ビル

TEL 078-392-6666 (営業開発グループ)

設立 1989年



事業概要(図)

神戸発香港向け冷蔵混載サービス

- 食品専門混載サービス
- 食品専門の物流業者、冷蔵庫、低温輸送の研究機関と連携し徹底したコールドチェーンを実現
- 輸送温度：+1℃
- 対象貨物：青果物・お酒・味噌
その他冷蔵加工品 etc.

毎週1便
輸送日数3日間

神戸

香港

香港

- 現地でコンテナから貨物の取り出し、温度管理・仕分け・保管

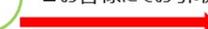


- 在庫管理・ピッキング・ラベル貼り

- ホテルやレストランへのカートン単位での配送



- お客様にてお引取り



4

【モデル概要】

日本産農水産物・食品の輸出は増加傾向にあるが、以下の問題がある。

- ① 冷蔵品、特に青果物においては、物量が少なく、航空輸送が中心で物流コストがかかり、販売価格も高くなるため販売層が拡大していない
- ② コールドチェーンの不備による鮮度劣化

本サービスは、低温輸送の研究機関、低温倉庫と連携し、小ロットの取引でも現地配送まで徹底したコールドチェーンを行う低コストの輸送サービスを提供することにより関西を中心とした日本産農水産物・食品の輸出促進を目的としている。

【関西地域の物流促進に寄与する点】

・輸送コストの削減・小ロット輸送のサービスを提供することにより地方から神戸港への貨物の集約・西日本エリアの食品輸出の促進・活性化に貢献。

【事業の独自性や先進性】

- ・低温輸送の研究を行う技術研究機関と連携し、輸送可能な品目、最適な輸送温度、梱包方法をアドバイス。
- ・現地の食品専門物流業者との連携により海上輸送後も温度管理を適切に行い、ホテルやレストランへの小口配送サービスも実施。

【サービスの特徴】

1. 日本食を神戸港に集約・混載
2. 荷受け～現地配送まで徹底したコールドチェーンを実現
3. 小ロットの貨物にも低コストの輸送を提供
4. 定期的な運航スケジュール (週1便)
5. 神戸港の特性(ラストポート)を活かした最短スケジュール
6. NYKグループの低温輸送研究機関との連携
7. 現地の食品専門物流業者との連携

■ 現地食品専門の物流業者 (SEAFRIGO社) による徹底した温度管理

仕訳・ラベル貼り・ピースピッキング・カートン単位でのホテルやレストランへの配送も可能。



【会社概要】

社名 KIX Pharma コミュニティ(CKTS、日航関西エアカーゴシステム、
阪急阪神エクスプレス、ホロロ・ロジスティクス、三菱倉庫、郵船ロジスティクス、関西エアポート)
事務局: 関西エアポート株式会社
<http://www.kansai-airports.co.jp/>

KIX Pharma コミュニティ 事務局
(関西エアポート株式会社)

【モデル概要】

- 世界的に医薬品の輸送・保管に関する基準「Good Distribution Practice(GDP)」が整備される中、日本では対応が遅れている状況。
- また、医薬品を取り扱う各国においてバラバラの基準で、取扱品質の世界標準化がされていない、といった課題がある。

本事業は、医薬品の航空輸送に関する輸送品質認証システム「CEIV Pharma」の認証取得により、Global Standardな基準での貨物ハンドリングが実現し、日本国内のみならず、海外からも信用の高い高品質な医薬品輸送が提供可能となる。

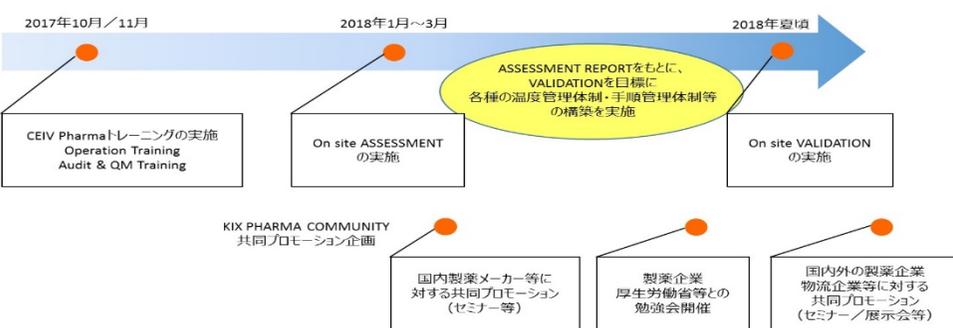
【関西地域の物流促進に寄与する点】

- 医薬品物流については、厳格な温度管理体制や輸送管理体制が求められる。
- 日本国内の空港において、この二つの要素をともに兼ね備えたサービス提供が可能になるのは関西空港のみとなるため、医薬品物流の関空シフトが効果として期待される。

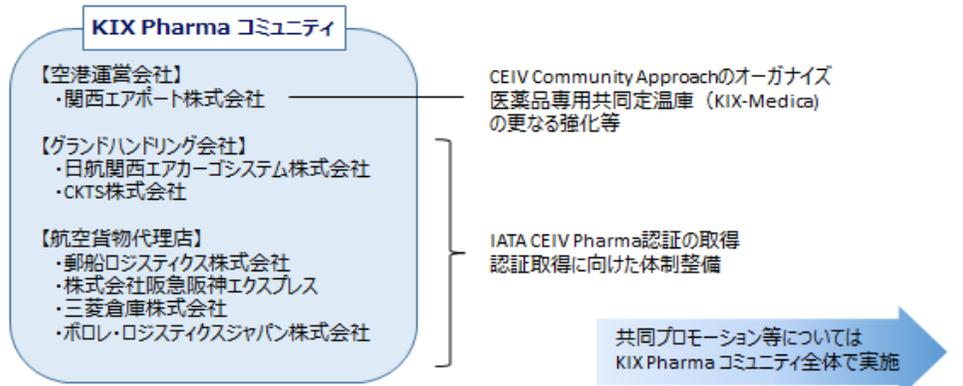
【事業の独自性や先進性】

・北アジア地域では初の空港コミュニティでのアプローチであり、輸送におけるサプライチェーンをつなぐため、複数企業が協同して実現

CEIV Pharma取得アプローチとプロモーション等のスケジュール



KIXファーマコミュニティのメンバーと役割

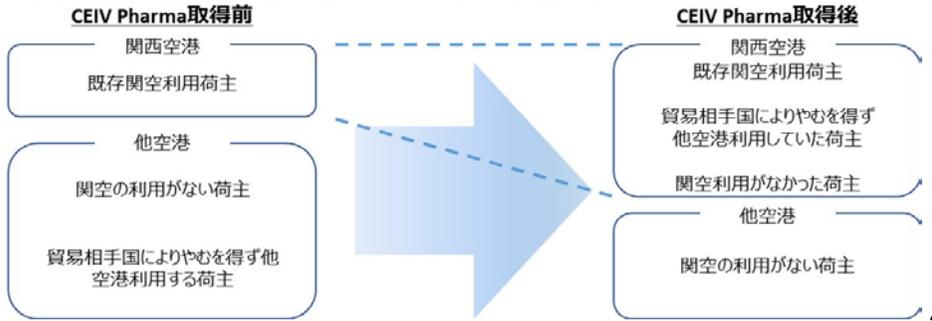


IATA CEIV Pharmaとは？

CEIV Pharmaとは「The Center of Excellence for Independent Validation in Pharmaceutical Logistics」の略であり、IATA (国際航空運送協会) が策定した医薬品の航空輸送に関する輸送品質認証システムのこと。



CEIV Pharma認証取得前と取得後の期待される物流の変化



【会社概要】

社名 株式会社ドコマップジャパン **docomap JAPAN**
 本社 〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目10-6 小林ビル4F
<https://www.docomap.jp/>
 設立 2017年8月

【モデル概要】

- ・関西国際空港を拠点とした航空貨物輸送において、フォワーダーより運行時間が厳密に設定されている状況。
 関西国際空港 → 成田国際空港 = **10時間**
 関西国際空港 → 福岡空港 = **11時間**
 関西国際空港 → セントレア空港 = **4.5時間**
- ・車両が上記規定時間(カットオフ)までに到着できなかった場合、多い時で50カ国以上に地域に影響を及ぼすこととなる。

本サービスは、これらの厳しい要求に応える運送品質を提供するシステムとしてGPS車両位置管理システム「DoCoMAP」を利用することにより、保税運送中の航空貨物の安全管理(航空保安)と、車両位置を迅速に確認し運行管理が容易となる、(航空会社およびフォワーダーからも称賛されている。)

【関西地域の物流促進に寄与する点】

- ・関西国際空港の24時間運用と国際貨物取扱量の引き上げ促進に寄与。

【事業の独自性や先進性】

- ・GPSによる車両位置情報を積極的に管理し、航空便のフライトに合わせた正確な運送をIoT技術を活用して実現。
- ・GPSで効率的な運行を行うことで、導入企業では空車回送率を全国平均30%を大きく下回る14%へと削減、年間12,900,000kgのCO2削減効果を得る。

【サービス提供について】

- ・サービス提供開始: 2017年8月
- ・サービス提供対象: DoCoMAPシステム契約業者全て
- ・サービス利用業者: 富士運輸株式会社
フジエーカーゴエクスプレス株式会社

DoCoMAPの概要

DoCoMAP (ドコマップ) とは、株式会社NTTドコモが提供する「かんたん位置情報サービス」を基盤技術に、ドコマップジャパンが開発した車両位置情報管理システムと組み合わせ、運送業に特化した車両の位置が管理出来るシステムの名称です。
※DoCoMAPはドコマップジャパンの登録商標です。

NTTドコモ製 かんたん位置情報端末
 ・車両1台につき、1輛車を利用レンタル方式で月々1,480円(第1期別) それぞれの車両に搭載

- ・誰もが簡単に「車両の見える化」を実現できるツールとして提供
- ・WebブラウザベースのシステムによりHPが表示可能な環境であれば、どのような端末でも利用可能。
- ・中小零細の運送業者にも簡単に車両位置管理システムとして導入可能なIoTソリューションとして提供。

サービス概要

関西国際空港 → 保税運送 → 成田国際空港

- 本サービス導入による効果
 - ・車両の動態監視を行うことで、装着・延着を未然に防止
 - ・車両の異常停滞を監視することにより、延着事故を未然に防止
 - ・車両位置がリアルタイムにわかるので、ドライバーへの負担も軽減
 - ・荷主へも車両位置情報を提供することで、問い合わせ頻度も軽減。
 - ・毎回変化する航空貨物の荷量に応じた車両台数の確保にドコマップジャパンの「空車情報」を活用した効率化

特徴①

DoCoMAPは1000台以上の車両位置情報も瞬時に表示します

特徴②

車両の移動状態を常時監視し、異常時は色と音で警告します
 ●緑色…走行中 ●黄色…停車中 ●赤色…30分以上停車中

特徴③

運行記録を1年分保存しますので過去の運行状況も把握可能で、異常発生時の位置や待機時間の割り出しにも活用可能です。

DoCoMAPの運行履歴画面

右図のようにグラフで車両の停止している時間と場所が正確に視覚的に分かります。